

コープのぶどう（中村果実グループ） おいしさの秘密発見ツアー

参加者42名（大人28名、子ども11名、事務局3名）



たわわに実ったぶどうブルーム（果粉）がいっぱい！



『ぶどう』について熱く語る中村さん



巨峰は1粒につき、葉1枚が必要なんです！

ぶどうの表面に付く白い粉はブルームといって、果実を雨や乾燥から守るために、ぶどう自身がつくるもの。この粉が付いているぶどうこそ、熟したおいしいぶどうの証しです。

今年は猛暑の影響で、見た目、粒がちょっと小さいですが、味には影響なく、甘いです！

農薬を使わないため、葉が自然に茶色に変わります。

猛暑が前日まで続いていましたが、開催当日の8月19日（木）はちょっとだけ気温が下がり、39名の方々とともに新横浜を出発！ 一路、山梨県一宮町の中村さんの果樹園に向かいました。1992年にグリーン・プログラム商品として扱い始めた「中村果実グループ」で人気の果物『ぶどう』。今回はそのぶどう畑でおいしさの秘密にせまりました。

『ぶどう』について熱く語る中村さんは、市民生協やまなしの組合員でもあり、おうちコープを利用し、ご自分の果物を注文して消費者の立場でお届けの状態を確認していることに、本当に頭が下がる思いです。

アンケートには、「中村果実グループの皆さんへのメッセージ」欄があり、それをまとめて中村さんへ感謝を込めて送りました。



初めてのぶどう狩り！おいしそう～！

